

平成29年第3回（臨時）高砂市教育委員会 会議録（要旨）

日時

平成29年2月8日午後1時00分

場所

高砂市役所西庁舎4階会議室

出席者

衣笠教育長、藤井委員、山名委員

欠席者

吉田委員、神尾委員

出席事務局職員

大西教育部長、木村教育推進室長、瀧野学校教育室長、
都筑教育推進室教育総務課長、駒井学校教育室学校教育課長、
中野福祉部長、福原福祉部子育て支援室長、藤田福祉部子育て支援室主幹

本日の会議に付した事件

協議事項

- 1 平成29年高砂市議会第1回臨時会提出議案に係る意見の聴取について

議 事 協議事項 1 平成 29 年高砂市議会第 1 回臨時会提出議案に係る意見の聴取について

- 事務局 (協議事項 1 : 第 8 回平成 28 年度高砂市一般会計補正予算について説明)
- 教育長 梅井保育園のレイアウトが変更になった経緯を教えてください。
- 事務局 6 月に、議会からも北東の土地があれば、仮設園舎を建てるとか、給食を運ぶ必要もなくなるし、買えないのかというような意見もありました。その時点では、まだ使用者がいらっしゃったので、交渉することが無理ということで一旦中断していました。
- 1 月に、使用者が転居され、2 月に入って、もう一度交渉できるかを所有者に確認し、急遽こういった形で予算を計上することになりました。
- 委員 A この図面で 1 軒だけ民家があるが、この方とは交渉してないのか。
- 事務局 こちらの民家の方にも、説明をして、了承を得ているということです。
- 委員 B 職員駐車場のスペースをどこまでとるつもりで考えているのか。その比率と送迎用の駐車場の大きさの問題と考えたときに、小学校だったら大事な校庭を教職員の車のためにたくさん使用していて、問題があるんじゃないかと思っています。
- 事務局 基本的に職員は、近い方は自転車とか徒歩とかというのは決まっていますが、近い人ばかりとも限りませんし、車でないと通えない方もいらっしゃることは想定しています。今は設計段階で予定ですが、18 台ぐらいは職員用として、止められるようにスペースは設ける予定です。
- 委員 B 市全体の話として、職員駐車場に関しては、1 キロ、2 キロ以内の方が自動車で来られているとしたら、駐車場が必要なかどうか。職員の採用については、できるだけ市内地域の人ということだが、人がいなくて、人材確保のために遠いところからでも来てもらうなら仕方がないが、近くの人にも職員全員に 1 人に 1 台駐車場を確保できるような考え方だと、甘過ぎるのではないかと思う。
- 事務局 基本的には、この本庁舎も、梅井保育園でも同じ考え方です。自分の住んでいる駅から何メートル離れているかというところと、それ以上の方は車通勤が可能とか、そういう制限があります。それで外れた方は、基本は駐車できません。例えば、この本庁の職員などは駐車場の許可が出ない方は、自費でこの近辺の駐車場を借りています。保育園でも、以前確認した中では、駐車スペースがない中で、職員は自費で駐車場を借りていることもありましたので、ここはある程度ルールに基づいた判断をしていかなければいけないとは思っています。
- 委員 B 合併したこども園に関しては、送迎用の駐車場が人数のわりに若干狭いかな

という感じがする。送迎のための駐車場の確保は、近所迷惑にならないように大事だと思う。職員駐車場が大き過ぎて、送迎用のほうが小さいなんてことになったら、おかしいと思う。

○教育長 この駐車場は職員以外の方も利用する駐車場だと思うが、考えられるとしたら来園者とかぐらいですか。

○事務局 送迎用の駐車場について、今建築のほうで考えてもらっているのは、来賓用と送迎用があって、どちらも送迎用には使えるようになっています。ただ、送迎は朝と降園時間になるので、それ以外は来賓用で十分使えるという判断で、兼用で使う形を考えています。また、職員駐車場についても、できるだけ職員は縦列的な形でとめて、来賓があった場合には有効的に使うように考えています。

○委員A 駐車場は、できるだけ市民が利用していただくという観点で、また1回全庁的に協議してください。

それから、民家のほうは、売る気があるなら、この際しておけば、解体も一遍に済むし、値段的にどうかなと思います。私は、増やすのは異議はないです、全体的に。

○委員B 民家のところが実際に入り口になっているようだが、それが民家の真横で、メインになると、民家の人にとったら大変でしょうね。家の横が入り口になる。

○事務局 今基本設計の途中なんですけど、大方の設計のイメージ図ができれば、この民家の方にもご説明に上がりますということで、お話ししているので、その中で、またご意見があったら、調整ができればということになるかと思います。

○委員A 送迎の車と自転車ですべて送ってくる人が接触がないようにしないと、暴走したりとかすると困るので、安全に配慮していただきたいと思います。

全体的には、これは市内の園舎では一番大きくなるんですか。

○事務局 今こども園では阿弥陀のほうで4,500平米ほどありますので、ここは4,400平米になります。一番大きいということではないです。

○委員B 31年のオープン時は全園児何人になる予定ですか。

○事務局 定員は190ぐらいで置いていますけど、今現在の園児数で言うと160ぐらいです、伊保と梅井と合わせて。ただ、3歳児教育も始めたいと思っていますので、大体定員は190ぐらいということです。

○委員B 2年後、3年後の人口推移の、園の推移の予想を教えてください。

○事務局 当初、事業計画を立てる際に各地区ごとの人口推計を、31年度まで出して、伊保地区については、高砂市内でもっとも多く人口減が見られる地域になっています。今現在、暫定時なので928名のゼロ歳から5歳までの児童数に対して、平成31年には831という数字を、推計ですけれども想定をしています。

○委員B 32年、33年、34年とか毎年じゃなくても、5年後ぐらい36年だったとしたら、

推移予想はちゃんと出ていますか。

○事務局 その先の5年間はまだ出ていません。実際に開園する31年の人口推計は出していますが、それ以降はまだこれからです。

市全体の人口動態ということで、市の経営企画室が持っている数字によりますと平成45年では4割減、平成60年には6割減という数字が出ているというふうには聞いています。

○委員B 建物を建てるに当たって、最大今入っている子は全部収容できるような建物を建てるのだけど、先々のことを考えたら、空き室がいっぱい目立つような建物になっていく。そういう予想はしているんですよね。建物の3分の1ぐらいは空室になっていくと思うが。

○事務局 確かに今後4割減、6割減とかというように、これは高砂市内だけではなくて全国的な人口減少の問題で、多くのところでそういう課題が出ています。この梅井の保育園だけではなく、高砂市の就学前の教育保育施設のバランスを見て、実際に高砂市に多くの施設があるということで、全体的なバランスも含めて、統合・廃園というところも、今後考えていかないといけないと思います。

この梅井保育園について、建設に当たって、そういうのも想定はしていますが、実際には必要数を確保しながら空き室がないように、多様な用途にできるような部屋のつくりをしていきたいと考えています。例えば、部屋の壁を固定ではなくて、パーティションで区切って違う用途に変えとかというようにすることも想定して今考えています。

○委員B ある程度大きい建物が建っている形になったら、そういうのも他市へのアピールで考えていく予定ですか。

○事務局 今現在も、他市からの受け入れも高砂市は特にほかの近隣市に比べまして、高砂市がほかの市に委託する児童数よりも、受け入れ児童数が非常に多い状況です。それは工場地帯であるということもあって、勤務先がこちらということもあり、多くの受け入れを行っています。実際に部屋数があれば、そういう他市の受け入れを拡大することも可能かというところです。それは、今後の児童数なり、その年々の利用調整の中で他市との調整を行っていきたいと考えています。

○教育長 他に何かありますか。

○事務局 報告でございます。

今現在、2号3号のこども園・保育所の入所調整を行っています。その中で、来年度29年から保育時間を一部延長するというので、公立保育所・認定こども園で、土曜日は8時から1時までの開園時間となっているのを17時まで、昼からも受け入れということで、これは一つに、子育て支援の充実というところで、土曜日もお仕事されている方もいらっしゃるということで、17時ま

での延長を認定こども園と公立保育所において行っていく予定で今現在進めています。

○教育長

よろしいですか。

それでは第3回教育委員会を閉会いたします。

平成29年2月8日 午後1時53分 教育長会議の閉会を宣告
